

3月9日さいたま市長メッセージ

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市の感染状況ですが、3月8日までの1週間の新規陽性者は、522人で、前週比約0.85倍となりました。

一方、季節性インフルエンザについては、本市の直近の定点当たりの報告数が14.73と、引き続き注意報レベルとなっています。少しずつですが、増加していますので、ご注意くださいと思います。

さて、先日、国は、3月13日以降のマスクの着用については、個人の判断に委ねることを基本とし、そのうえで、医療機関を受診するときなど、一定の場合にはマスク着用を推奨することとしています。

市民の皆様には、この取り扱いについてご理解をいただくとともに、3月13日以降も基本的な感染対策は重要となりますので、引き続き、三つの密の回避や手洗い、換気などの取組の継続をお願いします。

私自身のマスクの着脱は、それぞれの場面で判断していきますが、外す場面を増やしていきたいと考えています。

今回のマスク着用の考え方に関しては、まだマスクがないと不安だと感じる方、逆に早くマスクを外したいと考えている方、あるいは、事情によりマスクが必要な方や、つけられない方もいると思います。

市民の皆様には、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします。

今後とも、日常を取り戻せるよう取り組んでいきますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。